東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6943号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル２F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

好評放映中
毎週木曜日19:00～19:30　6月
視聴は http://www.higashiosaka-n.com
東大阪新聞チャンネル

7日　ゲスト：森雅声さん「詩吟のこころ」
（キャスター：小川秀人記者）
14日　ゲスト：中尾暁子さん
「失敗しないパン作り」
（キャスター：小野元裕社長）
21日「カクテル」
（キャスター：嶋津亮太記者）
28日　ゲスト：志村伊織さん
「ここまできたドローンビジネス」
（石河亮平編集委員）

今年から東大阪鴻池ジャズ共同開催

第41回 東大阪ふれあい祭り

「河内棟上祝い音頭」を披露する井上整憧社中

東大阪市民の手作りによる「東大阪市民ふれあい祭り」が今年で41回目を迎えた。5月12日は前夜祭として花園中央公園で河内音頭および花火大会が、13日はふれあい通りと花園中央公園でパレードやダンスが賑やかに行われたが、笑顔が絶えなかった。

2日目の13日は生憎の大雨に見舞われた。

今年からは、東大阪鴻池ジャズが共同開催となり、鴻池新田会所（東大阪市鴻池元町2―30）ほか7カ所でジャズの音色が響いた。2年に1度は邦楽を取り入れており、今年がその年に当たった。

12日に鴻池新田会所で井上整憧社中が「河内棟上祝い音頭」など数曲を披露。玉田玉秀斎さんによるジャズ講談「鴻池物語」もあり、参加者を楽しませた。

東大阪中央ロータリークラブ 第2085回例会

ゴスペル指導者 カサンドラ・ピークさんが熱唱

東大阪中央ロータリークラブ（宮田照男会長、岩﨑史郎副会長）の第2085回例会が5月14日にシャラトン都ホテル大阪（大阪市天王寺区上本町6）で開かれた。

宮田会長が膝の手術で欠席のため、岩﨑副会長が会長挨拶を行い、京セラドーム・ビスタルームで和やかに行われた春の家族会について触れた。

ピアノを弾きながら熱唱するカサンドラ・ピークさん

ゲストとしてシカゴ出身のゴスペル指導者カサンドラ・ピークさんが参加し、「ムーン・リバー」など5曲を自らピアノを弾きながら熱唱。伸びやかな歌声が部屋に響きわたり、出席者はうっとりと聞き惚れていた。

通訳はクロスプレイス（東大阪市昭和町22―12）の牧師、岩橋竜介幹事が務め、曲紹介などを行った。

また、浅野光男会員が中河内を中心に活躍するボーカリストOno Akiさんを招き、音楽家同士の交流の場面もあった。共通の友人がおり、話に花が咲いた。

左から２人目 Ono Aki さん、カサンドラ・ピークさん、岩﨑史郎副会長、浅野光男会員、岩橋竜介幹事

枚岡～瓢箪山商店街めぐり

楽しいお店紹介 ―⑦

三星堂

自然派のパンがセールスポイント

ジンジャモール商店街の「三星堂」は自然派が売り物のパン工房だ。店長は木村拓弥（たくや）さん（24）。通称キムタクと呼んで欲しいらしい。お隣「パナット・きのした」の木下隆之社長。社長の四男坊だ。

店の設立は5年前、当時の営業店舗の屋号をそのまま引き継いだ。拓弥さんは8年前の東日本大震災の折、近くの精肉店でアルバイトをしていたが、漠然と世の中の役に立ちたい気持ちが湧いてきた。飲食関連への興味があったことと、パンの設立に結びついた。

パンの品揃えは30～40種類、セールスポイントは「焼きたて・天然素材」だ。

左から木村拓弥さん、木村典子さん

アレルギー対策としては、天然酵母菌を使用した4種類のパンを提供しており、他の商品には、何種類かのパンを特別値引きして好評だ。

パン工房の店長は拓弥さんだが、母親の典子さんもお客さん対応他の元締めとして活躍している。枚岡神社の12月23日の「お笑い神事」には出店予定だという。

拓弥さんは将来の計画を伺うと、「移動販売車を備えて、災害時に役に立ちたい」と力強い夢を語ってくれた。

（小川秀人）

自然派パン工房　三星堂
東大阪市神田町3－6
☎072－951－2295
営業時間：9時～18時
休　　日：日曜日・祝日

第1回 八尾市民大学講座

藤原義春さんとロボット「ミーちゃん」

４月21日、八尾市生涯学習センターにて第１回八尾市民大学講座が開催された。第１回講座のテーマは「地域社会とものづくり」、サブタイトルは「八尾市をロボット産業の生まれ故郷にしよう」。講師は株式会社藤原電子工業社長・藤原義春さん（63）が務めた。

八尾発のロボットメーカー

株式会社藤原電子工業 社長 藤原 義春さん

地域社会がものづくりの舞台に

藤原さんは三重県出身。15歳の時八尾へ来て就職、十数年の金型製作の修業期間を経て1993年に独立創業した。当時はバブル崩壊のあおりで金型業界も海外移転が進み、新しい顧客を開拓に努めたが厳しい加工単価に辛い思いをした。売上高の6割を占める顧客の廃業や売上高3割の顧客の倒産など、厳しい経営環境が続いていた。

倒産の危機から脱出するために為に藤原電子工業をシビアに現状分析し、「弱み・強み」を徹底的に追求した。技術力・営業力・社員力・顧客力すべてが弱みの否定的な分析につながったが、「強みの発見」として金型技術の経験がSAF工法技術の開発に結びついた。SAF工法とはS（Sharp：鋭い）A（Angle：角）、F（フジワラ）の略称だ。金型加工による製品につきものの外形バリをSAF工法により、手作業のバリ取り仕上げを省くことができる。SAF工法技術は日本国内で唯一の特殊技術であり他の企業の追随を許さない。

次に社員のモチベーションをアップさせるために様々な方策を試みた。社員は現状を変えたいと考えていても能力がないと思い込み、なかなか自信が持てないのが現実だった。

そんな折、社員の能力を引き出す絶好のチャンスが訪れた。2008年に八尾市第1回ロボットコンテスト大会が開催された。出場テーマは藤原さんが決め、出場メンバーは社員の中から「自信のない4人」を選び、ロボコンに取り組ませた。その結果は、なんと優勝！　思いがけない成果がメンバー4人の大きな自信につながったことは言うまでもない。

社員教育を心がけると共に、シングルマザー対応等を含めて女性が働きやすい環境、高齢者（70歳超の作業者）が働きやすい環境に努めている。

企業変革に必要なことは決して諦めないでやり抜くことだ。また企業として重要なことは社会に求められる企業になることだ。藤原電子工業は弱みの克服と強みの改善を推進することにより、金型技術者6人・ロボット開発技術者2人の人材を獲得することができた。

現在の主力商品であるイモビライザー（自動車盗難防止システム）・携帯電話用チップLEDに続く商品群として家庭向け、コンビニ、一般商店向けのロボットが期待されている。

藤原さんは「これからも商業と工業が信頼関係を作り、アイデア商品を開発、八尾市に新しい産業が生まれる仕組みを構築していきたい」と力強い言葉で第1回市民大学講座を締めくくった。

（小川秀人）

晴耕雨読

古きを訪ねて

金沢駅は国際駅のようだった。大勢の外国人観光客が「ジャパン・レール・パス」をかざしながら北陸新幹線の改札を出てくる。東京から最速2時間半の大観光地だ。今回の旅は老妻のリクエストで長谷川等伯美術館（七尾市）を訪ね、1駅となりの和倉温泉から、ふた昔前に訪れた山代温泉と永平寺を再訪するものだった。

山代温泉での宿は温泉成分分析書に昭和28年（1953年）と記されているから65年の老舗旅館である。吹き抜けの中2階にある本棚には、はじごが架かっており、昭和時代に発行された美術史、文学全集など重厚な書籍がびっしりと並ぶ。「昭和の図書だな」と洒落ながらつぶやいた。

先々代が「時間を過ごすには読書がいい」と設けたが、蔵書数は不明という。高度経済成長期の遺物である大広間は格子で仕切った個室が並ぶダイニングカフェに改造され、BGMは懐かしのジャズ曲という新しいスタイルで食事を楽しませる。

永平寺のバス停で見たのは永平寺町、福井県、産業技術総合研究所などのラベルが貼られた「遠隔型無人自動走行中」「ラストマイル自動走行実証実験中」の小型自動走行車だった。自動運転車が普及するのも近いようだ。

古きを訪ねて新しきを知る。金沢駅は加賀百万石の雅（みやび）さを残しながら国際駅の風格をもつ。山代の宿での温泉と読書と昼寝は至福のひと時だろう。加えて木質の空間で聴く音色には薫り高き琥珀色の液体が似合う。ウイスキーでもいいブランディーでもいい、コーヒーでもいい、好きなように過ごすのが最高。この気ままさが心のイノベーションを誘う。

山奥の温泉宿や深山の観光地であっても技と心が反応しあっている。確かに変化していることを実感した旅だった。

2018・6・1

内科・心療内科・皮膚科
さんぽうクリニック
院長　楊　博嗣
八尾市荘内町2―2―36
☎072―990―5331
（八尾徳洲会総合病院西側）

えぇっ!?
環境活動して会社の業績UP??
ほんまかいな～
……もっちょい詳しく　TEL：072-991-8878
O-KES
特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾　大阪 KES 環境機構（O-KES）
詳しくはこちら→　http://www.gw-yao.com

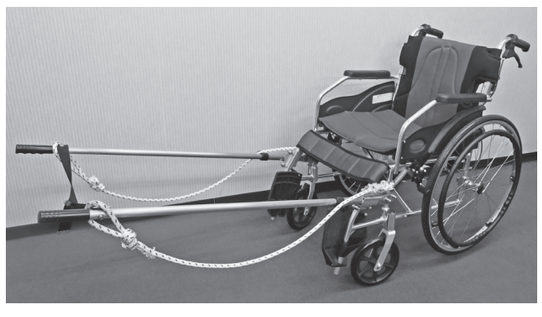
生きる力　チェルノブイリ・フクシマ　インド・マダガスカルに学ぶ
フリージャーナリスト 小野山 充 著　新刊
B６判 175 頁並製本
ドニエプル出版（TEL 072-926-5134）

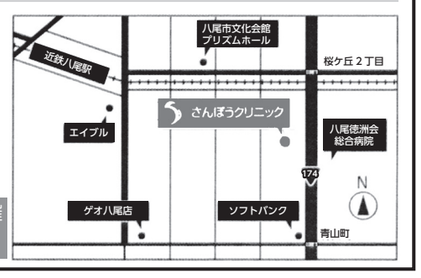
ウエス販売
≪商品紹介≫
～色メリヤスウエス～（１kg ¥350）
～混合ウエス～（１Kg ¥150）
～タオルウエス～（１kg ¥400）
～タオル雑巾～（１Kg ¥600）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害福祉さぽーとライフグリーン
〒578－0905　東大阪市川田4－4－8
TEL：072－963－4838
FAX：072－963－4855

株式会社 藤原電子工業
プリント基板製造の外形加工
プレス・ルーター加工及び金型製作設計
http://www.fdk-ltd.jp/
〒581-0042　八尾市南木の本二―一五一
TEL（〇七二）九九一―三九二七
FAX（〇七二）九九一―三九九六
fujiwara-denshi@nyc.odn.ne.jp

セラミック加工品
株式会社 東華機械
代表取締役 東 修平
小物金属加工製品の中国調達・販売
多品種・小ロット金属削り出し加工品
〒577-0007　大阪府東大阪市稲田本町3―7―17
☎0800―5359―8997（日本・中国共通）
FAX06―6746―6844（日本・中国共通）
E-mail azuma.s@donghua-sh.com

根川医院
診療科　内科・小児科
住所　〒577―0807　東大阪市菱屋西6―2―28
千日前通り（産業道路沿い）
結婚式場ベルクラシック東南すぐ
診察時間　月～土　午前9時～午前12時
休診日　月・火・水・金　午後6時～8時
祝・日・木夜・土夜
TEL 06―6781―1253
FAX 06―6781―8406

大雨　洪水　津波　台風

こんな時の必需品
災害時対応の「人引車（じんびきしゃ）」
一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社
共同開発
監　修（一社）災害避難研究所
企画開発　大興産業株式会社
製　造　マツモラ産業株式会社
TEL 072-925-3450
大阪の元気！ものづくり企業

マツモラ健康塾開校のお知らせ
毎月第②・第④土曜日 開催　14時開講（16時終了予定）
参加費無料
プログラムは毎月変わります。ぜひ毎回ご参加ください。
病気を引き起こす前に予防を目的とした健康塾です
糖尿病・痛風と高尿酸血症
花粉症・睡眠時無呼吸
様々な参加型プログラム・測定をお楽しみいただけます
認知症チェック・認知症予防パズル
脳の開発に役立つパズルなど盛りだくさん


主催 マツモラ健康塾　代表 松茂良 興治
〒581-0005　八尾市荘内町 2-2-36
TEL 072-925-3450　携帯 090-1020-2682
さんぽうクリニックにて開催
※八尾徳洲会総合病院西側（青山通り沿い）

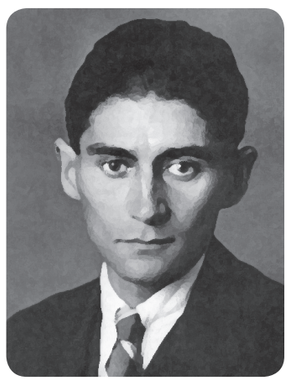
連載 小説

河内のカフカ ―⑰―

嶋津 亮太
（八尾市在住の小説家）

鐘の音が聴こえる。高音の余韻が夕暮れに一本の横線を引いた。消えるか、消えないかのところで無色透明の網目に変わって空気中に溶け込んでいった。鐘の音が鳴る前とその後では静寂と寂寞の違いがあった。鐘の音は精神を不安にさせる。

木造の扉、玄くくすんだ取っ手に手をかけると西日のぬくもりが伝わった。右に滑らせると内側の凸凹が平坦になり、扉が開いた。ユピトーは表面上では落ち着いた態度を装っていたが、内心はひどく焦燥していた。時間までに家に辿り着かなければ、家を空けて外出していたことが母と妹にバレてしまう。妹はまだ大丈夫かもしれない。片側の口を歪ませて意味深に微笑むだろう。「家を空けるということが何を意味するか分からないはずはないだろう」。言葉には出さず、その不敵な微笑だけでそれを表わすだろう。問題は母だ。母は怒り狂って、目の前にあるモノを右手で掴み、自分もことをめがけて力いっぱい投げつけるに違いない（それが高価なものであるか、安価な日用品であるかは関係なく、まず先に目に入ったモノを投げつけるだろう）。相手に致命傷を負わせてなお、何か適当な長さと重さのモノ（彼女の手のひらに収まりやすいグリップのモノ、例えばキャンドルスタンドなど）を振り下ろし、幾度となく叩きつけるだろう。



ユピトーはそれを想像しただけで背中がじんわりと冷たくなった。急いで扉の中へ入ると、左右二手に道は分かれていた。ユピトーは迷うことなく右を選んだ。革靴が地面を叩く音が響く。気が急いているため、自然と足早になる。石に革靴がぶつかる音はリズミカルだった。そして、後から遅れるようにして共鳴した音が鼓膜へと届いた。この響き方は異常だ。まるでエフェクターを使用したような気韻を感じる。あまりにも音の輪郭がくっきりとし過ぎている。ユピトーは今自分が歩いている場所が洞窟であることに気付いた。それが分かると、周囲に立ちこめたじめっとした空気を気に留めずにはいられなかった。湿度の高さは洞窟による効果なのだろう。

視界はだんだん暗くなっていく。頬に何か冷たいものを感じた。手で拭う。水だ。天井のそこかしこから雫が落ちている。それらは〝ぴちょん、ぴちょん〟と軽やかで涼し気な音色を奏で、洞窟中に反響した。闇の中のようで、辺りはアクアブルーに色づいて見えた。海月が浮遊するように、その発色する青い光は揺らぎながらユピトーを照らした。

「しばらくこの場所にいたい」

どうにか腰を掛けてその宙に揺蕩う青い光を眺めようと、適当な石の出っ張りを探したがなかなか見当たらない。さっきまで、探すまでもなく辺りに深成岩のようなマグマの成れの果てが視界に広がっていたのに、それを欲するとなった瞬間、見当たらなくなった。歩く速度を緩めながらしばらく適当な岩石の出っ張りを探したが無駄だった。ユピトーは苛立ちを隠せなかった。自分の〝思い付き〟が具現化されないことに対する嘆きである。思えば、今だけに関わらず〝思い付き〟が形にならなかったことは山のようにあった。どちらかというと、〝思い付いた〟ばかりにうまくいかなかくなることの方が多かった。

ユピトーの苛立ちは憂いへと漸次的移行を見せた。自分が想像することが全て泡になって消えるかのような虚しさ。その偉大な空虚がユピトーの全身を支配した。ユピトーの身体は小刻みに震えていた。誰かに助けてもらいたい。しかし、この姿を誰かに見られることは自尊心が許さない。激しい自己矛盾の中でユピトーの心は摩耗した。

ふと、この場所に来る時に開けた扉を閉めたかどうかが気になった。ちゃんと閉めたような気もするし、閉めていないような気もする。いや、確か閉めていなかった。そうだ、閉めていないはずだ。閉めなければ。そう、閉めなければ母親に殴られる。ユピトーは焦った。時間がないというのに、とんだロスを犯してしまった。早く扉を閉めに戻らなければいけない。強迫観念に近い衝動でユピトーは先ほどとは反対方向へ歩み出した。

気のせいか、足音は先ほどよりも音響効果を失っていた。遥か数百メートル先に白い光が見える。そこへ向けてユピトーは駆け出した。やっぱりそうだ。扉が開いたままになっている。おそらくあの白い光が入口だ。外の明かりが中へ差し込んでいる。早い段階で気が付いてよかった。母親にこっぴどく絞られるところだった。

入口へ近づくに従って湿度は低くなっていった。日常に近い感覚だ。しかし、いつの間にこんなに歩いたのだろうと疑問に思った。ユピトーが体感していたよりも随分と歩いていたようだ。

「あの、大丈夫ですか?」

声が聴こえる。この洞窟の外からだろう。少しずつ白い光が近づいてきた。

「大丈夫ですか? あの、大丈夫ですか?」

広い光が近づくにつれて輝きが増してくるのが分かる。眩しい。ユピトーは目を細めた。もう少しで光に手が触れそうになった時、視界に別の映像が映った。

「あの、大丈夫ですか?」

視線を上げるとマスターが翔平を見ていた。呆気にとられた翔平の表情を見て、マスターは不敵な笑みを浮かべた。

「随分と効いたみたいですね。チェイサーをご用意しましょうか?」

翔平は何が起きたのか分からなかった。

次号（7月15日付）に続く

河内のカフカ

第9回自然葬「みのり」合同慰霊祭

最期の安心　自然・樹木葬

「春の嵐」と云われていた天気が持ち直し、第9回自然葬「みのり」合同慰霊祭（みのり祭り）が、4月14日に八尾市山畑の法浄霊園で壮麗に開催された。

遺骨を自然の大地に還し、石碑の墓標代わりに、自生する桜やモミジや百日紅の花木の下に埋葬する「自然・樹木葬」は、永代にわたって亡き人を弔う「最期の安心」を引き受ける葬送として、最近、多くの方々の関心を寄せている。

主催寺である日宝寺の僧侶らによる読経が自然の中に響き渡る。

小西法明住職が「私たちが〝あっ〟と驚くほど見とれてしまう、どんなに美しい花でも、そこには必ず〝土〟があります。見えないけれど、その〝土〟から養分や水分を得て、見事な花になるのです。ここに埋葬された方々は、その〝ふかふかな土〟に抱かれて眠っております。そこから花が咲き、蝶が舞い、昆虫が動きます。見えない〝土〟に見えない〝おかげさま〟をいつも意識して元気に生きていきましょう」と、「ほっこり法話」で結んだ。

読経が自然の中に響き渡る

the Fight

力道山最後の弟子
グレート小鹿さん
まだまだ健在 ―①

大日本プロレス「大阪サプライズ35～千年の轍2018」興行が3月31日エディオンアリーナ大阪・第2競技場（大阪市中央区難波中3）で行われ、グレート小鹿選手が第2試合に登場した。

1962年11月力道山の日本プロレスに入門、デビュー戦は翌年5月奈良市あやめ池遊園地で相手はマシオ駒。ジャイアント馬場率いる全日本プロレスでも活躍。1988年7月に一度引退するも1994年12月に大日本プロレスを設立し翌年現役復帰を果たす。大日本プロレスの会長で日本プロレスの生き証人でもあるグレート小鹿氏に自身のプロレス人生、そして師匠でもある昭和のスーパーヒーロー力道山のことを振り返ってもらった。

グレート小鹿さん

〈小鹿氏は北海道函館市出身、昭和17年（1942年）生まれ。17歳の時に埼玉県川口市にいた叔父の魚屋で働くことを決意。バスに乗り込むとうしろ窓から追いかけてきた姉の姿が見えた。最後は泣きながら道路の真ん中で座り込だという。バスは青函連絡船の待合室に着きそこで人生を大きく変える出会いが待っていた〉

「このままここにいても将来がない。（金を儲けて）親を安心させたいという気持ちだけだったね。最初3等に乗る予定だったんだけどタバコ臭くてダメ。駅員さんに100円出したら1席もらえて待合室に入れるって言われてそうしたんだよ。そこに元横綱千代の山（九重親方）がいた。だから100円払わなかったら千代の山とは会っていなかったんだよね」

〈上野駅で叔父に会う約束で電報を打っていた小鹿少年は桟橋の待合室でスカウトされたことで、魚屋ではなく相撲部屋へ向かうことになる〉

「連絡船では寝台に乗ったらベッドの下にバナナやメロンの箱が5個ほどあってね。当時は運動会とか遠足とかになったらオフクロが1本だけ持たせてくれたぐらいしか食ったことなかった。そのバナナをチラッと見たら親方が『あんちゃん、バナナ好きか』。『はい』。『じゃ食え!』。40本近く食べたな。『あんちゃんよう食うな』って」　＝続く＝

リングに立つグレート小鹿さん

ワーン・ツー・スリー!「6分10秒、グレート小鹿組の勝ち!!」。リングアナウンスの後レフリーのフランク篤が高々とグレート小鹿の手を上げた。8人タッグマッチ20分一本勝負、相手レスラー、バラモンケイ選手に覆いかぶさり体固めでピンフォールを奪ったグレート小鹿選手、御年75歳。力道山最後の弟子で今なおリングに立ち続けている。

（中野善典）

日本人の死生観を大きく揺さぶる

「男の孤独死」

「痛い在宅医」

医師 長尾和宏さん
「男の孤独死」「痛い在宅医」同時出版

話題の本

平穏死のすすめを訴える医師、長尾和宏さんが昨年12月に同時出版した2冊「男の孤独死」「痛い在宅医」（どちらもブックマン社刊、定価1,404円・税込み）が話題になっている。前者は孤独死の7割が男性という事実を踏まえた上で、そのリスクは50代から始まっていることを指摘。後者は在宅医療の光と陰を描く本邦初のドキュメンタリー。

日本人の死生観を大きく揺さぶるこの2冊を読めば、生き方そのものを見直さずにはおれない。

お客様にいかに喜んでいただけるか

広域

元気創造企業
株式会社 芦田

京阪守口市駅前からタクシーで訪問。「運転手は一発で芦田まで来ましたか」と聞かれた。社名の認知度100%を目指していると開口一番。名刺交換では「愛すべき2代目のアホぼんです」と笑いを取る。

1969年に父が始めたエクステリア商材などの販売・施行会社を2代目・衛氏が39歳の時に、絵に書いたようにすんなりと引き継いだ。そのエピソードがある。小学校の時「将来、何になりたいか」の作文で「父の様になりたい」と綴ったのが、「そのまま、その通りになった」と話す。エクステリアに目覚めたのは15、16歳の頃だった。「大学生になりたい」との一心から大阪芸術大学芸術学部を受験。「リンゴとバナナ」を自由に置いてデッサンをしたが「まともに絵を描いたのはこの時が初めて、それが入学試験だった」と回顧しながら、「都市・住・地域の計画を学ぶ環境計画科は仕事に役立っている」と述べた。

父から「家業を継ぐのであれば一旦、外へ出てからだ」と厳命され、21歳から埼玉県朝霞市のエクステリア問屋で丁稚奉公。25歳で株式会社芦田に入社した。

インテリアに対してエクステリアがある。建物の外回りや周辺域のフェンス、門扉、垣などの屋外構造物や植栽の総称をエクステリアという。いわゆる外構だ。インテリアと同じように、美しくデザインし大切にあつかうことが個人のみならず公共の場においても重要で、その地域の美観と治安にも役立つ。このような社会性をこめてエクステリア事業を展開している株式会社芦田（守口市南寺方東通3-9-21）の社長・芦田衛さん（53）を訪ねた。

アニマルに囲まれる芦田衛さん

経営理念を説く　株式会社つきまくり　社長　芦田 衛さん

テリア業界がこの上ち上がっていると明かした。

取材をしている会議室の横の部屋にはシロクマやチンパンジー、ブルドッグが興味気にこちらを見つめている!?「これはガーデンや店舗を演出するアニマル・リアルディスプレイで、簡単に動物園ができます」と説明を受ける。それ以外にもガーゴイルなどもあり米国M－CLASSの販売代理店だと分かった。

きっかけについて「お客様にいかにして喜んでいただけるかを考えていた」ことから情報が入り、これだと即断した。幼稚園や小児科、複合商業施設などの納入実績がある。

「面白い!」ととらえる感性は絵心と商売魂の化学反応によるものだろう。直近の業績はグループ18人、年商11・5億円。

更に、芦田さんが力を入れているのが利他精神に裏付けされた社会貢献活動と企業の社会的責任である。愉快なネーミングの株式会社つきまくりの社長も務め、名刺には「小さな会社の経営理念プロデューサー」とある。経営理念の宣教師だ。会社経営には経営理念が最も大切だということを実体得から知り、人生経験では重病克服や縁を通じて他者から教えられ学んだ。これらを体系化してコンサルティング活動を行っている。

「有言即行」「家業から企業へ」「企業になれば公器」「社員の幸せとは」を説く。講演や執筆の他に、大阪都島区倫理法人会の相談役を務めるなど、芦田衛という異才・異能の人は強運にして意気軒高だ。

（石河亮平）

最近の戸建て住宅には、コスト削減のためか門扉やフェンスもなく無防備さが目立つことに対して芦田さんは「外構工事は寄生虫業界ともいわれ親会社から予算を削られ安全・安心までカットされた〝ストリップ〟外構」と嘆く。「英国ではタウンキーパーという公共の仕事が役所にあり、ハンギング・バスケットや植栽などで街並みが美しく保たれています。サザエさんの庭を想像してください。縁側でタマと一緒に座っている風景、お隣と声を掛けあっています。これで防犯は充分です」とエクステリア業界のこのような観点から立ち上がっていると明かした。

株式会社 芦田
〒570―0043
守口市南寺東通3―9―21
TEL 06―6997―2222
FAX 06―6996―5577

笑う税理士 26

税理士　上西　知

贈与による相続対策③

贈与税とは、相続税の補完税としての意味があります。もし贈与税がなかったら、生前にすべての財産を贈与しておけば税金（相続税）がかからないからです。また贈与税は1月1日から12月31日という暦年を課税の単位としているところは所得税と同じです。また申告の期限も翌年の3月15日までと同じです。

贈与税の計算構造はどうなっているかと申しますと、もらった財産の価額から基礎控除額である110万円を控除した金額に税率をかけて納めます。税率は累進になっており、結構高いのが贈与税の特徴です。難しいのは現金であれば財産の価額は誰でもわかりますが、土地や建物等の場合、その財産はいくらになるかというところが厄介なのです。いわゆる時価をもって財産の価額とすることになっているのですが、時価がいくらなのかわからないから困るのです。相続税や贈与税は、相続税評価額をもって時価としてよいとなっているのですが、事実と合致するかというと合わないケースもあるということです。だいたいは時価の70％が固定資産税評価額で、80％が相続税評価額になると言われています。これが本当に難しいところです。

贈与税はもらった方にかかる税金です。それは一対一で計算するのではなく、その年にもらった財産を全て合算します。例えば、父から現金100万円、祖父から現金200万円をもらったとしますと、両方合わせた300万円をもらったとして申告をするのです。そこから基礎控除額の110万円を控除しますので、父と祖父とそれぞれ110万円を控除できるのではないのです。そして納税は、もらった人がするもので、あげた人が納税しますと、それも贈与税の対象になるので注意が必要です。

あげる人は贈与税が支払えるように考えて贈与することも考えておかないとなりません。

瓢箪山戦隊 ショウフウジャー見参！

防犯フェスティバルに出演

4月22日快晴の中、瓢箪山商店街至近の神田広場にて、春の地域安全運動「防犯フェスティバルin枚岡」が開催された。防犯フェスティバルは読売センターひょうたん山店、東大阪市枚岡防犯協議会、枚岡警察署、縄手・上四条校区自治連合会の共催によるもの。

第1部は枚岡警察署・合川和夫署長、枚岡防犯協議会・中川和夫会長の主催者挨拶に続いて、野田義和東大阪市長が来賓を代表して祝辞を述べた。

第2部はこのメーンイベント、ちびっ子達がお待ちかねの「戦隊ショー」の開幕だ。大阪府立枚岡樟風高等学校の地域貢献部に所属する「瓢箪山戦隊ショウフウジャー」は枚岡各地で活躍する人気の戦隊だ。枚岡神社「お笑い神事」のアトラクションにも毎年出演して、人気を呼んでいる。今回のステージには顧問の野口雄史教諭自らも出演した。

式典の中で「ショウフウジャー」は枚岡警察・合川署長より防犯活動ボランティアの委嘱状を受領した。今後は女性・子ども達への啓蒙活動やオレオレ詐欺対策、自動車事故予防等のボランティア活動に活躍することだろう。

もう1組は腹話術パフォーマーのニッシャン堂さんが出演。人形8体を駆使しての腹話術、動物・キャラクターを素早く仕上げるバルーン芸、物まね、手品、ジャグリングをステージいっぱいに展開して多くのちびっ子達を興奮の渦に巻き込んだ。

会場には関係者の他に多くの市民が詰めかけ、展示の白バイに群がるちびっ子達や、特産品販売コーナーで品定めをする参加者で賑わっていた。

8体の人形を操るニッシャン堂さん

ショウフウジャーの舞台

挨拶する合川和夫署長

事業説明する笠本義嗣理事（中央）

ドローンを飛ばす志村伊織理事長（左から2人目）

八尾のものづくり企業30社が集合

みせるばやお　設立総会開催

5月8日、リノアス8階（八尾市光町2）にて「みせるばやお」設立総会が開かれた。集まったのは八尾市内のものづくり企業30社あまり。企業者みずから、「ものづくりの魂を次世代に紡ぐため」「地域の魅力を子どもたちに伝えるため」に参集。

会場となったリノアス8階は前の西武八尾店の催し物会場である。

総会で藤原　元フスマ工飾株式会社　義春氏（株式　社長）、会計に中田寛氏（会社藤原電子　（株式会社中田製作所社工業社長）が　長）が役員として選出代表理事に選　された。八尾市は特別出された。あ　会員となっている。わせて副代表　「みせるばやお」は、理事に太田泰　経営者たちの「本気の造氏（錦城　夢と思い」が込められ護謨株式会社　た体験ワークショップ社長）、理事　を通して、ワクワクに木村祥一郎　した経営者の姿を子ども氏（木村石鹸　たちに見せることで、工業株式会社　子どもたちが「面白社長）、友安　い！」「大きくなった啓則氏（友安　らあんな風にやってみ製作所社長）、　たい！」と思ってくれ谷元享氏（谷　るような熱気溢れる場所にしようと　決意が語られた。

「みせるばやお」は　さらに、集まった企業　同士で「こんな風に子　どもたちに伝えたい」　「もっとワクワクさせるにはどうすればい　いか」など　を話し合っているうち　に、自分たちの思いを　語り合い、仲間同士が　魅了しあう。

企業同士のコラボレーションが自然と生まれることが期待されている。

「みせるばやお」では、今後とも地域の中小企業の参加を求めている。

オープンは今年8月8日の予定だ。

意見が活発に交された

https://fbyg.jp/projects/monozukuri

ドローンビジネス スタートアップセミナー

市場広がる　未開拓空間にドローン

災害や建設現場などの状況、世界遺産や自然界などの景観、イベント会場の様子など、至近距離で鮮明な空撮映像を見ることが増えた。ドローンは、測量や空中撮影、橋梁、空港、高速道路、高圧電線などのインフラ施設の点検・修理などで使われ、メディア、航空・鉄道、物流、デベロッパーなどの事業者によるドローンビジネス参入が加速している。

しかし誰でもが操縦できるわけではない。そんな中、国土交通省認定の一般社団法人無人航空機操縦士養成協会（志村伊織理事長＝大阪市中央区南本町）は4月17日午後、同協会会議室にて自動車教習所を対象にした「ドローンビジネス」スタートアップセミナーを開いた。

北海道から九州まで経営幹部ら15人が参加。今後も引き続き開催する予定。

セミナーではドローンビジネスの現状に続き、実際にドローンを飛ばし操縦技術や認可手続、初期投資額など具体的な説明が行われた。

笠本義嗣理事（77）は「2015年12月の改正航空法の施行で2016年は〝ドローンビジネス元年〟となった。ドローンの市場は17年度の533億円から22年度は2、116億円と予想され、15兆円産業との試算もあり世界中でドローンビジネスが急増している」と現状を紹介した。自動車教習所はドローンビジネス参入への強みを持つことから優位性を活用すべきだと述べ、国交省への登録手続きや経営数値などを解説した。

志村伊織理事長（39）は「当協会は国土交通省の管理団体として2月に登録された。同省のHPには全国で15件が掲載されている。難しいのでそう簡単には増えない」と見立てた。志村氏はパイロット（JCAB自家用操縦士）であることからカリキュラム編成や教材作りなどにおいて国交省から「完璧です」とお墨付きを得ていると胸を張る。「今がチャンス、自動車教習所には飛ばす場所があり、インストラクターがいることから、ドローンスクールを作くればよい」と強調。セミナーに参加した高知自動車学校の副管理者・谷岡一博さん（54）は「何か新しいビジネスを考えねばならない環境にある。ライセンス取得を必死で検討する。今でしょう！」と意気込む。

ドローンブームは「改正航空法」施行や国土交通省が全国の橋梁70万の定期点検を打ち出した影響も大きい。ドローンの活用方法として災害時の危険場所の把握、気象・環境データの収集、鳥獣害対策など多岐にわたる。一方、技術的にも「落ちない安全性」の確保として、バッテリー容量を自動検知し基地に戻るようにプログラミングしたものや、墜落時にパラシュートが開くなど進化したが、100％安全とは言えない。最もな心配なことはドローンの操縦不能による、予定外のルートや空域に飛んで行ってしまう「フライ・アウェイ」だが、研究は進んでいる。政府は18～19年度に、離島や山間部で荷物配送を定着させ、20年代に都市部で本格的に物流に活用することを目指している。

法整備が進み社会実験も多角的に行われている。ラクビーW杯、G20サミット、東京五輪、大阪万博などの大型国際イベントもあり、セキュリティーや情景撮影、物流などドローンビジネスに関心が高まっている。しかし、安全安心の厳しいルール順守は未開拓の空間だけに最優先であることは言うまでもない。（石河亮平）

一般社団法人無人航空機操縦士養成協会

協会事務局
〒541－0054
大阪市中央区南本町４丁目５－７
東亜ビル　株式会社いろえんぴつ内
TEL06－4963－3788
FAX06－6241－2016

ドローンポート福知山
京都府福知山市字大内1199－１
TEL0773－45—8601
FAX0773—20－2016

なつかしい写真

国道25号線沿いには住宅がありますが、そのほかは田園地帯であります。

この地域に最も早く最新住宅ができたのは、大阪市営加美神明東・細田住宅であり昭和32年に開発されました。

八尾飛行場より２枚羽（複葉機）の飛行機でかなり揺れたそうですが、写真の精度はかなり良いものであります。

〈写真提供〉読者・坂口　功

撮影時期　昭和27年１月ごろ
撮影場所　八尾市竹渕付近から大阪市加美東大阪市大蓮・衣摺付近

大転換の時代―つねに活路あり―

4月13日、東大阪市倫理法人会（武知歳弘会長）の主催する倫理経営講演会「大転換の時代―つねに活路あり―」が開催された。会場のU・コミュニティホール（東大阪市御厨栄町1－4－4）には100人を超える参加者が集まった。

・東大阪市倫理法人会・倫理経営講演会

第1部では株式会社近江屋による朝礼実演があり、生気溢れる発声と言葉で場の空気を引き締めた。第2部は有楽製菓株式会社代表取締役会長で一般社団法人倫理研究所法人スーパーバイザーの河合伴治さん（65）が講話した。（嶋津亮太）

河合　伴治さん

有楽製菓株式会社　代表取締役会長
一般社団法人倫理研究所法人スーパーバイザー

河合伴治さん（写真）の父は愛知県の豊橋市出身で、戦後裸一貫で東京に出てきて世田谷で有楽製菓を創業した。昭和30年のことである。ウエハースやキャンディ、チョコレートなどの洋菓子を製造し今の有楽製菓の基盤を作った。間もなく小平に移転する。

河合さんは昭和27年に生まれた。実家が会社ということもあり、工場内は遊び場のようなものだった。物心ついた頃から有楽製菓は生活の一部だった。

大学を卒業後、ドイツへ洋菓子を学ぶために1年半ほど留学する。そこには最新のお菓子の技術や設備があった。またドイツには〝マイスター〟と呼ばれる職人を育てる制度がある。河合さんは良質の環境で思う存分お菓子作りを学んだ。そして、「ドイツで見たこの光景を日本でも広めたい。自分も世界に通用するお菓子を作りたい」とそう心に誓った。

帰国すると河合さんは有楽製菓に入社した。生まれ育った場所である。会社のことを知っているつもりでいた。ただ、実際に中に入ってみると全く違う印象を抱いた。工場内は埃だらけ、設備もドイツで見たものとは雲泥の差、作っているチョコレートもドイツのものに比べればお世辞にも品質が良いとは言えない。綺麗な制服でお菓子作りをしていたドイツの職人たちとは対照的に、自社の職人たちは空調の調整もままならずランニング姿で汗を流しながら働いている。

堪りかねた河合さんは父親に進言した。

「設備ももっといいものを使おうよ。もっといいチョコレート作らないと駄目だよ。社員の待遇もよくしないといけないよ」

最初は黙って聞いていた河合さんの父も、そのうちに痺れを切らして言い争うようになった。

大ヒット商品 ブラックサンダー 誕生秘話①

1994年の発売以来今も１つ30円

2006年、河合さんは倫理法人会に入会する。有楽製菓に入社して25年。父親は79歳になっていた。

伴治さんの父は認知症を発症し始めていて、会社の業務のほとんどは専務である河合さんが切り盛りしていた。父親に社長交代の話を促すと、その時だけは「誰がお前にやらせるか」と言って譲ってくれなかった。

工場は地震がきたら一瞬で潰れてしまいそうなほど劣化が進んでいた。父親との関係には入社以来埋まることのなかった深い溝があった。そんな状態で河合さんは悶々としていた。

倫理法人会に入会した翌年、先輩に連れられ静岡県御殿場市にある富士高原研修所での合宿に参加する。

「当時、自分がすごく〝できた人間〟だと思っていました。合宿に参加したところで勉強することもないだろう、と」

河合さんはそう語る。

しかし、その時の研修によって河合さんの心に変化が表れた。研修の中では何度も〝親の恩〟について言及された。河合さんにとって父親との軋轢は最も難しい問題であった。

「ずっと仲が悪かった。何かあればいつも揉めていました。ですから〝親の恩〟と言われた時は、『俺が一生懸命やっているおかげで会社が成り立っているんじゃないか』と反発する気持ちが強かった」

その教えをはじめは受け入れられなかった河合さんだったが、父との関係を見つめ直すうちにその気持ちも次第に弱まっていった。

「小さい頃はよく親父と一緒に遊びに行っていたな。確かに厳しい父親だった。だけど、自分が今こうして二丁前にやっていられるのも、そんな親父に鍛えてもらったからだ…」

父親について思いを巡らせ、昔の記憶が蘇ってくる。気が付けば河合さんの瞳からは涙がこぼれていた。その溢れ出した雫はとめどなく流れた。

「その時はじめて〝涙を流す〟ということが〝自分の心を洗浄する〟ことだと知りました。涙は汚れた自分の心を洗い流して素直にしてくれる」

伴治さんは気付いた。決して自分一人で大きくなったのではない。父親の存在がなくてはならなかったのだと。

（次号へ続く）

健康チェック指導をする森井隆喜理事（右）

認知症予防講演をする松茂良興治理事長

認知症予防セミナー開催

一般社団法人予防医療推進協会

一般社団法人予防医療推進協会（松茂良興治理事長）主催の恒例イベント「認知症予防セミナー」が4月21日にマナビックスYAO（八尾市本町2－8－3）で開かれた。

物忘れチェック、血管年齢・自律神経バランスチェックなど健康チェックのほか、松茂良興理事長による認知症予防講演、森井隆喜理事による認知症予防体操指導があり、参加者は熱心に耳を傾けていた。

最後にビンゴゲーム大会も行われた。カードに穴が並ぶと、参加者は年を忘れ子どものように手を挙げていた。

松茂良理事長は心を弾ませることが認知症予防につながると考え、セミナーの後には毎回必ずビンゴゲーム大会の時間を設けている。

参加した八尾市在住の女性（74）は「松茂良さんの話が分かりやすく、タメになりました」と話していた。

オールウェイズ キッズ・シニア

国分東校

オールウェイズコンピュータサービス

ロボット教室 いきいきクラス

藤井寺で人気のパソコン教室を運営するオールウェイズコンピュータサービスが、5月8日に2校目として国分東校を近鉄河内国分駅前に開いた。

代表者の佐竹扶美さん（49）は平成14年7月に同社を起業した。自宅を利用し電話1本でスタート。出張指導をメーンにした。やがて生徒の希望に応えて教室を設けるように。口コミで広がり、少しずつ生徒が増えた。

藤井寺市役所や藤井寺商工会議所、羽曳野商工会議所などの仕事も入り、スタッフも揃えた。

佐竹さんは、15年を区切りとして2校目の分校を開くに至った。法人化の準備も着々と進んでおり、7月には実現する。

国分東校の目玉は子どものロボット教室と高齢者対象のいきいきクラスだ。前者はロボットを作ることで「学ぶ力」を育てるもの。5・6歳児対象のプログラム。認知症予防に必要なものは①有酸素運動、②バランスのとれた食事、③知能活動、④仲間と一緒の4つとされているが、このうち③を活性化させるためにタブレットの使い方を学ぶ。

リーズナブルで気軽に参加できる国分東校は地域の交流の場としても賑やかになるだろう。

開校と法人化を目標に掲げていた。そして、それを実行に移し東国からはプログラミングも学び、パソコン技能検定試験にも臨む。

後者は認知症予防「脳×元気」プログラム。認知症予防に必要なものは①有酸素運動、②バランスのとれた食事、③知能活動、④仲間と一緒の4つとされているが、このうち③を活性化させるためにタブレットの使い方を学ぶ。

リーズナブルで気軽に参加できる国分東校は地域の交流の場としても賑やかになるだろう。

プライマリーコースも誕生。小学3年生からはプログラミング

完成したロボットを持つ佐竹扶美さん

オールウェイズキッズ・シニア 国分東校
柏原市国分本町1－2－25 2F
（近鉄河内国分駅東側ロータリーそば）
TEL072－937－3813

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南6－2－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

春の叙勲・褒章

春の叙勲が4月29日に発令され、八尾市から5人が選ばれた。
また、褒賞は八尾市から1人が選ばれた。

◎瑞宝小綬章
妹尾幸男さん（70）元大阪高裁刑事首席書記官
◎旭日単光章
居相英機さん（76）アベル代表取締役
◎瑞宝単光章
小角尚子さん（74）認定こども園志紀保育園長
瀬戸栄子さん（80）工業統計調査員
立石郁子さん（76）元各種統計調査員
◎藍綬褒章
山下春夫さん（75）保護司

瑞宝単光章を受章した小角尚子さん

喜楽亭正面入り口

東大阪新聞は昨年４月より取材記事で好評だった企業や個人にお願いして、東大阪新聞チャンネル（ユーチューブ）に出演いただいている。毎週木曜日に新しいコンテンツを提供しており、取材記者・編集委員・社長がキャスターを務める。４月の第１木曜日に中川政雄さんにご出演いただいた。

中川政雄席亭が

東大阪新聞チャンネル（ユーチューブ）に出演

番組では中川さんのプロフィール紹介に始まり、矢野宗宏副席亭との出会い、お笑い研究会の立ち上げ、ボランティア活動、NHKテレビ番組「クローズアップ現代」に出演等々を熱く語った。

続いて数多い講演を全国津々浦々で行っていることに触れた。「人は化ける、組織も化ける」「体験的リーダー論」の解説には説得力がある。

平成17年９月の喜楽亭柿落し公演で里見まさとさんに名誉席亭をお願いする段は更に熱がこもり、見応え、聞き応えのある30分番組だ。

番組を見るにはパソコンまたはスマートフォンで「東大阪新聞」を検索し、「東大阪新聞チャンネル」をクリック。画面をたどって行くと「中川政雄さん出演番組」が確認できる。（小川秀人）

東大阪新聞チャンネルに出演の中川政雄さん（左）

関西大学落研寄席

昨今は様々な大学で「落語研究会」いわゆる落研が花ざかりだ。中でも関西大学の落研は上方落語協会の桂文枝会長を始めとして多くのプロを輩出しており、注目度が高い。喜楽亭副席亭・矢野宗宏さんは関大落研在籍中に話芸を磨き、プロの道を目指していたと聞く。卒業後、縁あって八光信用金庫に入社し黙々と業務に励んでいた頃、山本支店に転籍となり運命の人と出会った。

喜楽亭 関大寄席 6月23日開催

喜楽亭・関大寄席は6月23日、午後1時の開演。矢野副席亭の肝いりで楽しいプロアマ共演プログラムが用意されている。

まずは中川政雄席亭が玄人はだしの話術で客席のご機嫌を伺う。

番組①は千里家バカボン（落語）、②ろまん亭砂一八&芋野（尺八と民謡の三十石）、③爪田亭らいむ（落語）、④関大亭 忍狂（落語）。

中入り後は⑤関大亭 雰囲気でお馴染みのブッダ・アーチが担当する。

話芸を磨き、プロの道を目指していたと聞く。卒業後、縁あって八光信用金庫に入社し黙々と業務に励んでいた頃、山本支店に転籍となり運命の人と出会った。

現在矢野さんは中川さんが主宰するNPO法人お笑い研究会理事長を務めており、自身は「ユーモア・コンサルタント」として落語、田辺亭らいむ（落語）、関大亭 忍狂（落語）の出前高座や各種講演に東奔西走している。

学乱（落語）、⑥桂三象（踊り）、⑦桂三歩（落語）。

司会は得も言われぬ雰囲気でお馴染みのブッダ・アーチが担当する。

第39回会員総会

八尾中央産業クラブは「年配者と若い人の架け橋としてがんばりたい」と抱負を述べた。また、「健康をテーマに女性部会を活性化させたい」と声を弾ませた。

八尾中央産業クラブは5月25日に八尾グランドホテルで開かれた。そこで新会長として小林文美代さん（68）が選出された。同クラブでの初の女性会長。

小林新会長

心優しい小林文美代新会長

八尾中央産業クラブ

お詫びと訂正

5月15日付4面掲載記事「八尾ライオンズクラブ」で、八尾ライオンズクラブのスポンサーのもと設立とありますが、正しくは八尾ライオンズクラブ・八尾中央ライオンズクラブ・八尾菊花ライオンズクラブのスポンサーのもと設立です。

お詫びして訂正します。

八尾北部産業クラブ

新会長に松本忠賜さん

第53回 定時総会

5月18日、プリズムホールにて八尾北部産業クラブ第53回定時総会が開催された。役員改選議案にて松本忠賜（ただし）さん（52）が新会長に選出された。

懇親会の開会にあたり松本新会長は「産業クラブの目線で時代を俯瞰し、明確な目的意識を持って前に進みたい」と力強くポリシーを語った。

精悍な松本忠賜新会長

経営者モーニングセミナー開催　**早起きして、会社も家庭も元気に！**

●八尾市倫理法人会 経営者モーニングセミナー　6月の予定
毎週火曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。会場はマナビックスYAO（近鉄八尾線八尾駅・中央南出口より徒歩約5分）
八尾市倫理法人会事務局 ☎06－6764－1956
5日　大阪糖業株式会社代表取締役社長　野村しおり氏「わくわくどきどき ～斜陽のお菓子コンペイトウに光をあてて～」
12日　倫理研究所近畿方面副方面長　宇都進氏「明朗心」
19日　八尾市倫理法人会幹事　田中康正氏「人は変われる一緒なら」
26日　大阪鴻池倫理法人会幹事後継者倫理塾2期生　木下翔太氏/大阪都島区倫理法人会幹事後継者倫理塾2期生　吉川謙司氏「後継者倫理塾に入塾してからの気づきと変化」

●大阪鴻池倫理法人会 経営者モーニングセミナー　6月の予定
毎週木曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。会場はホテルセイリュウ（近鉄石切駅・南へ徒歩5分）
大阪鴻池倫理法人会事務局 ☎090-9874-3179
7日　倫理研究所法人アドバイザー　津々木昭子氏「人生は好転のチャンス」
14日　大阪都島区倫理法人会会長　松藤隆則氏「役を受け、人生の主役を演じる」
21日　大阪市北区倫理法人会会長　北端秀行氏「お陰様人生へ ～両親と職親と学親への報恩～」
28日　東大阪市倫理法人会事務長　志波大輔氏「苦難福門」

●東大阪市倫理法人会 経営者モーニングセミナー　6月の予定
毎週金曜日、朝6:30～7:30開催。参加費無料。会場はU・コミュニティホテルTTSセンター6階（近鉄河内小阪駅北すぐ）
東大阪市倫理法人会事務局 ☎06－6748－8838
1日　倫理研究所法人アドバイザー　山路卓司氏「種蒔きと収穫」
8日　大阪府倫理法人会副会長　上西知氏「純粋倫理に出合うまで」
15日　松原市倫理法人会幹事　中川千都子氏「言葉を変えれば人生が変わる『ありがとう力』」
22日　東大阪市倫理法人会実行委員　原子やすふみ氏「波乱万丈も幸福の門」
29日　倫理研究所法人スーパーバイザー　木村雅氏「大我とつながる実践」

イベント情報

イスマエル・レデスマ&ルシア塩満アルバコンサート
日時　6月3日16時
会場　ザ・フェニックスホール 大阪市西天満4－15－10 TEL06-6363-0311
料金　前売3,500円、当日4,000円（学生2,000円）
問い合わせ　松尾クリニック・小川さん（TEL090-8538-6152）

えんとつ町のプペル　光る絵本in アリオ八尾
日時　6月4日～16日 10時～20時
会場　アリオ八尾オレンジコート（八尾市光町2－3）
入場料　一般500円、高校生以下無料

認知症予防セミナー
日時　6月6日19時30分～
会場　上之島小学校集会所 八尾市上之島町北3―22―1
主催　NPOいきいきつながる会八尾支部

ECOろうそく能
6月15日18時30分　復曲能「高安」
6月23日18時30分　一調「土蜘蛛」・能「井筒」
12月21日17時　高安流ワキ方による仕舞および「弱法師」
12月22日17時　復曲能「高安」およびパネルディスカッション
会場　山中能舞台（大阪市阿倍野区阪南町6－5－8、TEL06-6692-3825）
料金　指定席前売7,000円、当日8,000円（自由席前売4,000円、当日5,000円）

連載小説

ウクライナを歩く ―― 102

小野元裕

ホテルの値段が100倍以上に

何かを思い出したかのように、アンドリイ君はニタリとしながら話を始めた。まるで子どもが父親に秘密の出来事を話すかのようだ。

「ロシア人が考えているほどウクライナ人はヤワではありません」

「どういうことだい」

謎めいたアンドリイ君の言葉に乗せられて、私は質問を投げかけた。

「では、お話しします」と告げると、もったいぶっているのかどうかは分からないが、しばらく間を置いた。

早く話しておくれと目で合図を送った。アンドリイ君は鼻の頭を右手人差し指でゴリゴリと2度ほど掻く。

「今、キエフのホテルの値段をご存じですか」

「1泊50米ドルぐらいかな。高くでも100米ドルというところでしょう」

「フットボールリーグのファイナルが5月末にキエフで開かれ、ヨーロッパから10万人近くのファンがやってきました。彼らはいくら払ってもキエフでの試合を見たいのです」

「そこで、ウクライナのホテルは商機を悟ったのですね」

「その通りです。通常の100倍以上です。10倍ではありませんよ」

サーシャ先生はこの辺りの話題に疎く、目を丸くして聞いている。

「ウクライナ人は商魂たくましいですね」

「だからこそ、生き抜いてきたのです。ロシアはじめ近隣諸国に痛めつけられ続けてきましたが、転んでは起き転んでは起きの繰り返しでここまでやってきました」

言葉が出なかった。

七転び八起きという言葉が頭の中でぐるぐる回り続けていた。

その答えが余りにも的外れだったようで、アンドリイ君は悪戯（いたずら）っぽい表情を作り目を見開いて両手を広げた。

「1泊4000～6000米ドル以上です」

「それはどういうことですか」

喜楽亭（きらくてい）　八尾市に誕生した『寄席小屋』

６月寄席は関西大学・落語研究会出身のプロ・アマによる『喜楽亭・関大寄席』を盛大に開催いたします。ご期待ください。

開催日時：平成30年6月23日（土）
開場：午後12時半　開演：午後1時

どうぞ喜楽においでください

八尾市陽光園 2-5-4（JR八尾駅より徒歩３分）TEL：090-1677-7552
名誉席亭・里見まさと（ザ・ぽんち）
席　亭・中川　政雄

氷川きよしコンサートツアー2018 ～日本全国歌の渡り鳥 3～

氷川きよし コンサートツアー ～日本全国 歌の渡り鳥3～ 2018

史上初、9度目の「日本有線大賞」大賞を受賞した氷川きよしによるスペシャルコンサート。
3年ぶりにプリズムホールに再登場！

平成30年8月7日(火)
①13：00開演(12：30開場)※15:00終演予定
②17：00開演(16：30開場)※19:00終演予定
八尾市文化会館プリズムホール

■料金
7,500円(当日券なし)［全席指定］※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
＊プリズムクラブ(友の会)先行販売
4月15日(日)10:00～　4月21日(土)19：00
【先行販売枚数限定あり】＊一般前売発売　5月27日(日)10:00～
※プリズムホールでの昼の部の販売はさくわずかとなります。売り切れの場合、一般発売は夜の部のみの販売となります。

PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ
プリズムホール チケットカウンター ☎072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/

「200年住宅リフォーム理念」
どこまでも続く
永いおつきあいを
サンコーではお客様目線に立ち、品質・施工・ご予算に無駄のないプランをご提案します。
キッチン・トイレ・バス・洗面のリフフォームはもちろん、畳の表替えや、外装・耐震補強など、お家のあらゆるご相談に応じます。
サンコー物産株式会社　お問い合わせはお気軽に TEL06-6533-1271
本社　〒550-0015　大阪市西区南堀江4丁目33番29号
E-mail：info@sankobussan.co.jp
http://www.sankobussan.co.jp/
東京営業所 名古屋営業所 大阪営業所 和歌山営業所 福岡営業所

元気になれ！ ヘム鉄ゼリー
1粒にほうれん草30株分、プルーン300粒分の鉄分補給！
黒粒ヘム鉄ゼリーは、ヘム鉄と、瞳に優しいアントシアニン色素、ビフィズス菌の栄養になる（善玉菌を増殖させる）オリゴ糖、そして、スギナ・ヨモギなどをバランスよく含有したゼリーです。
430g（50粒）
￥4,104（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

第6回世界に羽ばたけ『夢』スピーチコンテスト
支援金額：120万円
【本選開催日時】平成30年10月 13時30分～17時
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com

【開催趣旨】
将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。
【応募資格】
大阪在住または在学・在勤の16歳以上25歳までの青少年（1993年4月2日～2003年4月1日生まれの方）

【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者10名を選考いたします。
①公式サイトより『出場申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②『夢』というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400字詰め）にて3枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：「出場申込書」と「原稿」を併せてメール又は郵便でお送りください。
※「出場申込書」と「原稿」はHPよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小阪12-42 一般財団法人青少年夢応援隊　スピーチコンテスト企画係宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
問い合わせ☎06-6725-0511
⑤原稿締切：平成30年8月31日（金）必着

東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています

笑う税理士 26

税理士　上西　知

贈与による相続対策③

贈与税とは、相続税の補完税としての意味があります。もし贈与税がなかったら、生前にすべての財産を贈与しておけば税金（相続税）がかからないからです。また贈与税は1月1日から12月31日という暦年を課税の単位としているところは所得税と同じです。また申告の期限も翌年の3月15日までと同じです。

贈与税の計算構造はどうなっているかと申しますと、もらった財産の価額から基礎控除額である110万円を控除した金額に税率をかけて納めます。税率は累進になっており、結構高いのが贈与税の特徴です。難しいのは現金であれば財産の価額は誰でもわかりますが、土地や建物等の場合、その財産はいくらになるかというところが厄介なのです。いわゆる時価をもって財産の価額とすることになっているのですが、時価がいくらなのかわからないから困るのです。相続税や贈与税は、相続税評価額をもって時価としてよいとなっているのですが、事実と合致するかというと合わないケースもあるということです。だいたいは時価の70％が固定資産税評価額で、80％が相続税評価額になると言われています。これが本当に難しいところです。

贈与税はもらった方にかかる税金です。それは一対一で計算するのではなく、その年にもらった財産を全て合算します。例えば、父から現金100万円、祖父から現金200万円をもらったとしますと、両方合わせた300万円をもらったとして申告をするのです。そこから基礎控除額の110万円を控除しますので、父と祖父とそれぞれ110万円を控除できるのではないのです。そして納税は、もらった人がするもので、あげた人が納税しますと、それも贈与税の対象になるので注意が必要です。

あげる人は贈与税が支払えるように考えて贈与することも考えておかないとなりません。

瓢箪山戦隊 ショウフウジャー見参！

防犯フェスティバルに出演

4月22日快晴の中、瓢箪山商店街至近の神田広場にて、春の地域安全運動「防犯フェスティバルin枚岡」が開催された。防犯フェスティバルは読売センターひょうたん山店、東大阪市枚岡防犯協議会、枚岡警察署、縄手・上四条校区自治連合会の共催によるもの。

第1部は枚岡警察署・合川和夫署長、枚岡防犯協議会・中川和夫会長の主催者挨拶に続いて、野田義和東大阪市長が来賓を代表して祝辞を述べた。

第2部はこのメーンイベント、ちびっ子達がお待ちかねの「戦隊ショー」の開幕だ。大阪府立枚岡樟風高等学校の地域貢献部に所属する「瓢箪山戦隊ショウフウジャー」は枚岡各地で活躍する人気の戦隊だ。枚岡神社「お笑い神事」のアトラクションにも毎年出演して、人気を呼んでいる。今回のステージには顧問の野口雄史教諭自らも出演した。

式典の中で「ショウフウジャー」は枚岡警察・合川署長より防犯活動ボランティアの委嘱状を受領した。今後は女性・子ども達への啓蒙活動やオレオレ詐欺対策、自動車事故予防等のボランティア活動に活躍することだろう。

もう1組は腹話術パフォーマーのニッシャン堂さんが出演。人形8体を駆使しての腹話術、動物・キャラクターを素早く仕上げるバルーン芸、物まね、手品、ジャグリングをステージいっぱいに展開して多くのちびっ子達を興奮の渦に巻き込んだ。

会場には関係者の他に多くの市民が詰めかけ、展示の白バイに群がるちびっ子達や、特産品販売コーナーで品定めをする参加者で賑わっていた。

8体の人形を操るニッシャン堂さん

ショウフウジャーの舞台

挨拶する合川和夫署長

事業説明する笠本義嗣理事（中央）

ドローンを飛ばす志村伊織理事長（左から2人目）

八尾のものづくり企業30社が集合

みせるばやお　設立総会開催

5月8日、リノアス8階（八尾市光町2）にて「みせるばやお」設立総会が開かれた。集まったのは八尾市内のものづくり企業30社あまり。企業者みずから、「ものづくりの魂を次世代に紡ぐため」「地域の魅力を子どもたちに伝えるため」に参集。

会場となったリノアス8階は前の西武八尾店の催し物会場である。

総会で藤原　元フスマ工飾株式会社　義春氏（株式　社長）、会計に中田寛氏（会社藤原電子　（株式会社中田製作所社工業社長）が　長）が役員として選出代表理事に選　された。八尾市は特別出された。あ　会員となっている。わせて副代表　「みせるばやお」は、理事に太田泰　経営者たちの「本気の造氏（錦城　夢と思い」が込められ護謨株式会社　た体験ワークショップ社長）、理事　を通して、ワクワクに木村祥一郎　した経営者の姿を子ども氏（木村石鹸　たちに見せることで、工業株式会社　子どもたちが「面白社長）、友安　い！」「大きくなった啓則氏（友安　らあんな風にやってみ製作所社長）、　たい！」と思ってくれ谷元享氏（谷　るような熱気溢れる場所にしようと　決意が語られた。

「みせるばやお」は　さらに、集まった企業　同士で「こんな風に子　どもたちに伝えたい」　「もっとワクワクさせるにはどうすればい　いか」など　を話し合っているうち　に、自分たちの思いを　語り合い、仲間同士が　魅了しあう。

企業同士のコラボレーションが自然と生まれることが期待されている。

「みせるばやお」では、今後とも地域の中小企業の参加を求めている。

オープンは今年8月8日の予定だ。

意見が活発に交された

https://fbyg.jp/projects/monozukuri

ドローンビジネス スタートアップセミナー

市場広がる　未開拓空間にドローン

災害や建設現場などの状況、世界遺産や自然界などの景観、イベント会場の様子など、至近距離で鮮明な空撮映像を見ることが増えた。ドローンは、測量や空中撮影、橋梁、空港、高速道路、高圧電線などのインフラ施設の点検・修理などで使われ、メディア、航空・鉄道、物流、デベロッパーなどの事業者によるドローンビジネス参入が加速している。

しかし誰でもが操縦できるわけではない。そんな中、国土交通省認定の一般社団法人無人航空機操縦士養成協会（志村伊織理事長＝大阪市中央区南本町）は4月17日午後、同協会会議室にて自動車教習所を対象にした「ドローンビジネス」スタートアップセミナーを開いた。

北海道から九州まで経営幹部ら15人が参加。今後も引き続き開催する予定。

セミナーではドローンビジネスの現状に続き、実際にドローンを飛ばし操縦技術や認可手続、初期投資額など具体的な説明が行われた。

笠本義嗣理事（77）は「2015年12月の改正航空法の施行で2016年は〝ドローンビジネス元年〟となった。ドローンの市場は17年度の533億円から22年度は2、116億円と予想され、15兆円産業との試算もあり世界中でドローンビジネスが急増している」と現状を紹介した。自動車教習所はドローンビジネス参入への強みを持つことから優位性を活用すべきだと述べ、国交省への登録手続きや経営数値などを解説した。

志村伊織理事長（39）は「当協会は国土交通省の管理団体として2月に登録された。同省のHPには全国で15件が掲載されている。難しいのでそう簡単には増えない」と見立てた。志村氏はパイロット（JCAB自家用操縦士）であることからカリキュラム編成や教材作りなどにおいて国交省から「完璧です」とお墨付きを得ていると胸を張る。「今がチャンス、自動車教習所には飛ばす場所があり、インストラクターがいることから、ドローンスクールを作くればよい」と強調。セミナーに参加した高知自動車学校の副管理者・谷岡一博さん（54）は「何か新しいビジネスを考えねばならない環境にある。ライセンス取得を必死で検討する。今でしょう！」と意気込む。

ドローンブームは「改正航空法」施行や国土交通省が全国の橋梁70万の定期点検を打ち出した影響も大きい。ドローンの活用方法として災害時の危険場所の把握、気象・環境データの収集、鳥獣害対策など多岐にわたる。一方、技術的にも「落ちない安全性」の確保として、バッテリー容量を自動検知し基地に戻るようにプログラミングしたものや、墜落時にパラシュートが開くなど進化したが、100％安全とは言えない。最もな心配なことはドローンの操縦不能による、予定外のルートや空域に飛んで行ってしまう「フライ・アウェイ」だが、研究は進んでいる。政府は18～19年度に、離島や山間部で荷物配送を定着させ、20年代に都市部で本格的に物流に活用することを目指している。

法整備が進み社会実験も多角的に行われている。ラクビーW杯、G20サミット、東京五輪、大阪万博などの大型国際イベントもあり、セキュリティーや情景撮影、物流などドローンビジネスに関心が高まっている。しかし、安全安心の厳しいルール順守は未開拓の空間だけに最優先であることは言うまでもない。（石河亮平）

一般社団法人無人航空機操縦士養成協会

協会事務局
〒541－0054
大阪市中央区南本町４丁目５－７
東亜ビル　株式会社いろえんぴつ内
TEL06－4963－3788
FAX06－6241－2016

ドローンポート福知山
京都府福知山市字大内1199－１
TEL0773－45—8601
FAX0773—20－2016

なつかしい写真

国道25号線沿いには住宅がありますが、そのほかは田園地帯であります。

この地域に最も早く最新住宅ができたのは、大阪市営加美神明東・細田住宅であり昭和32年に開発されました。

八尾飛行場より２枚羽（複葉機）の飛行機でかなり揺れたそうですが、写真の精度はかなり良いものであります。

〈写真提供〉読者・坂口　功

撮影時期　昭和27年１月ごろ
撮影場所　八尾市竹渕付近から大阪市加美東大阪市大蓮・衣摺付近

大転換の時代―つねに活路あり―

4月13日、東大阪市倫理法人会（武知歳弘会長）の主催する倫理経営講演会「大転換の時代―つねに活路あり―」が開催された。会場のU・コミュニティホール（東大阪市御厨栄町1－4－4）には100人を超える参加者が集まった。

・東大阪市倫理法人会・倫理経営講演会

第1部では株式会社近江屋による朝礼実演があり、生気溢れる発声と言葉で場の空気を引き締めた。第2部は有楽製菓株式会社代表取締役会長で一般社団法人倫理研究所法人スーパーバイザーの河合伴治さん（65）が講話した。（嶋津亮太）

河合　伴治さん

有楽製菓株式会社　代表取締役会長
一般社団法人倫理研究所法人スーパーバイザー

河合伴治さん（写真）の父は愛知県の豊橋市出身で、戦後裸一貫で東京に出てきて世田谷で有楽製菓を創業した。昭和30年のことである。ウエハースやキャンディ、チョコレートなどの洋菓子を製造し今の有楽製菓の基盤を作った。間もなく小平に移転する。

河合さんは昭和27年に生まれた。実家が会社ということもあり、工場内は遊び場のようなものだった。物心ついた頃から有楽製菓は生活の一部だった。

大学を卒業後、ドイツへ洋菓子を学ぶために1年半ほど留学する。そこには最新のお菓子の技術や設備があった。またドイツには〝マイスター〟と呼ばれる職人を育てる制度がある。河合さんは良質の環境で思う存分お菓子作りを学んだ。そして、「ドイツで見たこの光景を日本でも広めたい。自分も世界に通用するお菓子を作りたい」とそう心に誓った。

帰国すると河合さんは有楽製菓に入社した。生まれ育った場所である。会社のことを知っているつもりでいた。ただ、実際に中に入ってみると全く違う印象を抱いた。工場内は埃だらけ、設備もドイツで見たものとは雲泥の差、作っているチョコレートもドイツのものに比べればお世辞にも品質が良いとは言えない。綺麗な制服でお菓子作りをしていたドイツの職人たちとは対照的に、自社の職人たちは空調の調整もままならずランニング姿で汗を流しながら働いている。

堪りかねた河合さんは父親に進言した。

「設備ももっといいものを使おうよ。もっといいチョコレート作らないと駄目だよ。社員の待遇もよくしないといけないよ」

最初は黙って聞いていた河合さんの父も、そのうちに痺れを切らして言い争うようになった。

2006年、河合さんは倫理法人会に入会する。有楽製菓に入社して25年。父親は79歳になっていた。

伴治さんの父は認知症を発症し始めていて、会社の業務のほとんどは専務である河合さんが切り盛りしていた。父親に社長交代の話を促すと、その時だけは「誰がお前にやらせるか」と言って譲ってくれなかった。

工場は地震がきたら一瞬で潰れてしまいそうなほど劣化が進んでいた。父親との関係には入社以来埋まることのなかった深い溝があった。そんな状態で河合さんは悶々としていた。

倫理法人会に入会した翌年、先輩に連れられ静岡県御殿場市にある富士高原研修所での合宿に参加する。

「当時、自分がすごく〝できた人間〟だと思っていました。合宿に参加したところで勉強することもないだろう、と」

河合さんはそう語る。

しかし、その時の研修によって河合さんの心に変化が表れた。研修の中では何度も〝親の恩〟について言及された。河合さんにとって父親との軋轢は最も難しい問題であった。

「ずっと仲が悪かった。何かあればいつも揉めていました。ですから〝親の恩〟と言われた時は、『俺が一生懸命やっているおかげで会社が成り立っているんじゃないか』と反発する気持ちが強かった」

その教えをはじめは受け入れられなかった河合さんだったが、父との関係を見つめ直すうちにその気持ちも次第に弱まっていった。

「小さい頃はよく親父と一緒に遊びに行っていたな。確かに厳しい父親だった。だけど、自分が今こうして二丁前にやっていられるのも、そんな親父に鍛えてもらったからだ…」

父親について思いを巡らせ、昔の記憶が蘇ってくる。気が付けば河合さんの瞳からは涙がこぼれていた。その溢れ出した雫はとめどなく流れた。

「その時はじめて〝涙を流す〟ということが〝自分の心を洗浄する〟ことだと知りました。涙は汚れた自分の心を洗い流して素直にしてくれる」

伴治さんは気付いた。決して自分一人で大きくなったのではない。父親の存在がなくてはならなかったのだと。

（次号へ続く）

大ヒット商品 ブラックサンダー 誕生秘話①

1994年の発売以来今も１つ30円